

human

No232

2011/8

医療を通じて人ととのふれあいを広めるために
ヒューマン(人)と名付けました。



「橋本龍太郎と安部謙二と一緒に登った麻布学園の旧時計台」

救急指定・労災指定病院 **さくら総合病院**

愛知県丹羽郡大口町新宮1-129
(0587) 95-6711(代)

老人保健施設 **さくら荘**

愛知県丹羽郡大口町新宮1-96
(0587) 95-6722

訪問看護ステーション **あすかビレッジ**

愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)
(0587) 95-8623

ヘルパーステーション **あすかビレッジ**

愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)
(0587) 95-8026

居宅介護支援事業所 **あすかビレッジ**

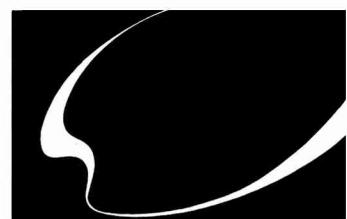
愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)
(0587) 95-8027

デイケアセンター **御 獄**

愛知県丹羽郡大口町新宮1-129(さくら総合病院2F)
(080) 5294-5728

有料老人ホーム **太郎と花子**

愛知県丹羽郡大口町新宮1-10
(0587) 95-0111



<http://www.ijinkai.or.jp>

E-mail:info@ijinkai.or.jp

私の生き立ち

その一 中学から高校

外科部長 小林 豊

私が小学時代に通つた塾は、テキストの決められた場所を、ただひたすら毎週末試験をやって全国順位を出す、というものであつた。当時は緊張しいだつた私は、毎回試験の直前には腹痛と嘔気に苦しんでいた。しかし、負けず嫌いの私には、このシステムが合つていた。自然と学力は伸びて行き、全國トップになれるなかつたが、トップクラスの端くつにはなれるようなり、いつしか自分の学力の中学校は中部地方にはなくなつていた。この結果、12歳で親元を離れることになり、東京の麻布中学校に入学した。この学校は完全な六年一貫の男子校で、珍しいことに高校では欠員がない限り生徒の募集は行わない。

最初に入学した300人がそのまま一緒に進級し、卒業する。そのため異常なまでに結束が堅い。この学校は面白いことに校則がない。入学したときには、「法」には触れないようう。」と言わただけだつた。制服も裏はいろいろあるが)、入学したときには、「法」には触れないようう。」と言わただけだつた。制服もない。黒の詰め入りはあるが、標準服と呼ばれ、どんな格好で行つても構わない。男子校で尚かつ当時は冷暖房もなかつたため、夏になるとみんな上半身裸で授業を受けていた。何を間違えたのか女子大生が教育実習でくることがある。しかし自分が日本の結党で手を結んだのは、麻布時代に席が隣だつたから、とか)など政治家多数、中川昭一(自民党総裁)、谷垣禎一(元総理)、福田康夫(元総理)、中川昭一(泥酔会見で辞任後急逝)、沼赳夫(この政策や理念の違い二人がたちあがれ日本橋本大二郎(元衆院議員)、与謝野馨(元衆院議員)、安部謙二(橋龍とは同級)、山下洋輔(ジャズピアニスト)、トランキー堺(タレント)、富田隆(心理学者)、ドクター中松(発明家)と北杜夫(小説家)、吉行淳之介(小説家)など文化人

許には丹羽雄哉という當時の厚生労働大臣の名前が書かれているが、これもまた先輩で、先輩から免状をもらつた形となつたのは思い出深い。

私の居た頃の麻布高校は、教室では、みな床にゴミを捨てていた。そのため、教室の中でもきれいなのはゴミ箱の中だった。掃除の時間といふものはなかつたため、試験中に担任が床の掃除をする習慣であった。授業中は紙飛行機が飛び交い、授業中に前の扉のところを大声で募り、コンビニに行つて来たりしていた。私はコンビニで毎日のようにざる蕎麦を買って来て、一番前の席でズルズルと蕎麦をすすりながら授業を受けていた。ある先生は、「小林！少しは隠すとかして、申し訳なさそうに食え！」と私を諭した。生徒はさまに格好をし、髪の色も

麻布高校の同窓には、近年人だと橋本龍太郎(元

バリエーションが豊富である。その汚さや粗暴な集団の様は、ドラマに出てくる工業高校さながらであつた。タバコを吸う生徒は職員室に灰皿を借りに行つて仲間と一緒に、青春を謳歌する場所であつた。東京の御三家（開成・麻布・武蔵）の一つといわれる我が母校は、世間の期待をこのように散々に裏切り、我々は勉強の場は学校の外に求めた。毎年100人以上東京大学に輩出する原動力は、学校の親身の指導ではなく、学校での思い切った気分転換と、気持ちを切り替えた放課後の塾や図書館での勉強であつた。

て6人の大学生と私の計7人を住まわせていました。朝食と夕食は小さな円卓を8人で囲んだ。質素な食事は夕食でもご飯と味噌汁と刺身こんにゃくだけ、とううことも少なくなかった。刺身こんにゃくにつける酢みそを付けすぎる！といつて怒られることさえあった。そんな食生活では育ち盛りの中学生の腹がふくれるはずもなく、親から送ってもらつたカツプラーメンや缶詰めを食べて飢えを凌いでいた。下宿には風呂がないため、下駄を買い与えてくれたたかただため、銭湯に通つた。親父が銭湯に通う時は下駄を履くものだ！といつて、そんなものか、と下駄を履いて銭湯に行つていたが、さすがにその時代にはもう下駄を履いているものなどおらず、商店街で人目を引いていたが、私がその現実離れに気がつくのには相当な月日を要した。

私の孤独感を払拭してくれたのは、部活として始めたバレーボールであった。学校が勉学を推進する学校ではなかつたため、勉強だけできてもチヤホヤされず、勉強がそれなりにできてしまふかもスポーツもでき、はじめて中心的役割を担える環境であつた。高校受験のない中学生は、ただひたすら部活をやるしかなく、ただひたすらボールを追つて行つたら、いつの間にか東京都選抜にまで辿り着いていた。バレーボールで高校へ進学しよう、という闘争心を引き出しの連中にまぎれて、その環境をただひたすら楽しんでいたのを克明に覚えている。その後左足首の靭帯を切つただけでなく、やはり高校では格段なるレベルの違いのため、選抜からお呼びがかかることはなかつた。

も入つて来ないため、中学三年間と高校三年間といふような普通ある区別はあまりなく、どちらかといふと麻布一年生から麻布六年生という感じの六年間一貫校独特の雰囲気であつた。スポーツしか打ち込むものがなかつた私は、バレーボールの他には、冬季限定ではあるがスキーに打ち込んだ。やるとなつたらがんがん攻め続けるタイプの私は、高校2年に上がった春にはスキー技能検定1級を取るという目標を達成したが、その上の指導員コースを目指すには2歳年齢が足りなかつたため、スキーに関する情熱はここで収束し、目標を失つた。单调な毎日に飽き足らない私は、高校2年の夏にアメリカ合衆国マサチューセッツ州の公立高校へ留学した。留学に際しては当時の担任が「休学するとお金を払はなければいけないから、もつたいないから一度

退学しろ。帰つて来たら復学させてやるから!」といふ口約束で一度退学しての留学だった。こんなところも麻布の自由の現れであろうか。渡米後、言葉の穴をいかに埋めるか、それは私はにはスポーツしかなかつた。アメリカでは通年同じスポーツをやるのではなく、シーズン制で季節ごとに異なるスポーツをする形をとつていた。私は、秋はアメリカンフットボール、冬はスキー、春は陸上競技に興じた。バレーボールで培った力はアメリカでは非常に立つた。高校生の私はフットボールで黒人とぶつかり合うことに最初は恐怖を感じたが、大和魂はアメリカ人に当たり負けないことを知った。一番印象に残つたのは陸上競技であつた。バレー ボールで鍛えた筋肉をそのまま使う競技を選び、110mハードル、400mハードル、円盤投げとした。槍投げとした。

アメリカに来た以上は、怖を感じたが、大和魂はアメリカに居る、と現地の新聞で取り上げられたのもいい記念となつた。

は種目を決めるにあたり、監督が「試しに投げてみろ」という人生第一投が前の年のスクールレコードだつたため、皆が唖然とした。槍投げに関しては州大会に出場するまでに至つた。各校対抗戦で種目ごとに1位を取ると5点、2位を取ると3点、3位で1点というポイント制で、シーズンを通じて8点取ると学校から表彰されたが、私はそのシーズン120点とつた。この日本人が居る、と現地の新聞で取り上げられたのもいい記念となつた。

いわゆる外人に木魚を叩かせてくれるであろうか? 現地の人にとっては珍しい日本人が聖歌隊に居る、ということから、市のクリスマスコンサートに招かれ、大観衆の中ソロで、日本語でクリスマスソングを歌わせてもらつた。地球の裏側の言葉で慣れ親しんだ歌を聞き、聴衆には喜んでもらえた。このとき、歌は国境を越える、と実感した。

留学中の出来事だった。それは湾岸戦争の勃発であつた。全米が緊張し、私のホストファミリーのお父さんも民間軍人であつたため、徴兵されることとなり、私もホストファミリーを同級選択した音楽の関係もあつた。日本人の家に移つた。日本人のいい街に居たため、「なんでも日本はお金ばかりだし、生の家に移つた。日本はお金ばっかりだしね! 兵隊をださないんだ!」と責められた。こんなとき、高校生の私にできることは、みんなの前で歌つた。曲がりなりにも仏教徒(曹洞宗)の私がキリスト教の神と信者の間で毎週歌つていたのである。日本のお寺で、

本業の学問であるが、日本の中学校では、当たっては、高校の勉強では、当たるわけであるが、アメリカでは高校3年生に編入した。高校の勉強では、当たるわけであるが、国語や社会は落ちた。第2回は、歴代大統領な

と持ちかけた。日本をもつと知つてもらうため、誤解を解くためであつた。「日本はあなた方のおじいさんが作つた憲法のために兵隊がだせないんだよ。」アメリカでは一般の高校生でも日本がどこにあるのか知らないものさえ居た。「日本は中國のなかのどこなの?」「日本にウォーカーマンある?」「日本には扉とかあるの?」など、どんな原始的な生活をしていると思われているのか。高校生ができる外交は、日本を知つてもらうことだと奔走した。

物理が進んでいたお陰で、アメリカでは数学と物理は本当に全て百点満点であつた。いや、本当に簡単なのである。国語や社会は成績が悪かったため、下の学年の授業に参加し、その中でも特に成績の悪い、「日本にウオークマンある?」と聞いて来たとぼけた女の子に成績でバカにされたのは、辛かつた。その子だけには、「日本にはウオーカンも扉もないよ」と話しておいた。こと理数系だけはダンントツトップだった。学校の科学研究発表会では航空力学の揚力の実験を創作し、審査員の大学教授の目に止まり大学に誘われたことで、例の女の子にバカにされた心の傷を癒した。

めてやるから進級して高校3年に入るか？それとも入るか？と自由な選択を私に迫つた。結局私は、そのまま日本の大受験に突入できるわけがないのと、同級生の数が倍になる！という発想で、一年下があることに決めた。男子校で、あるため、一年違つただでも上下関係は厳しかつたため、復学した学年では全員年下のためみんなが手下になつて気分が良かつた。気を良くしていると、夏休み明けにある恒例の実力試験というものがあつた。ここで忘れもしない、数学で零点をとつた。あのアメリカで理数系オール満点の秀才が、である。日本の大受験に関しては文字通り“ゼロからのスタート”であつた。零点つてなかなか取れないものである。夢が現実となつた瞬間の一つであつた。ここで本当の意味で、みんなと一緒に進級し

なくてよかつた、と思った。

「こんな私であるが自由な高校はなんなく卒業できなたが、容易に想像がつくよう、浪人となつた。同級生が2学年にわたつている私は、いずれの学年の奴らからも遊びに誘われると断れなかつた。これはみんながいる駿大予備校にいたら終わるな、と悟り、当時同級生の医学部志望の誰もいない代々木ゼミナルを選択した。医学部志望のコースは原宿にあつたため、駅の改札を出てまつすぐ行くと竹下通りというとても楽しい通りで華やかであつた。この万有引力に逆らひながら左に曲がつて古屋の実家に帰つていた時、予備校から「息子さんが予備校をさぼつています!」のチクリの電話が入つた。その電話を偶然私が取つたのであるが、予備校担当者の

は声の似た父と区別がついでいなかつたようであつた。そこで、「予備校に行く行かないは、自分の責任なんだから、そんなことでいちいち親に電話してくるな!!」と私が一喝してやつた。それ以来、どれだけさぼつても親に電話が行くことはなかつた。志望校の選択にあたつては、東京大学医学部は到底出遅れた私には遠く及ばない、との程度には己を知つていたので、関東でその次のレベルである千葉大学や東京医科歯科大学を目指した。中でも歴史と伝統が魅力であつた千葉大学を第一志望とし、ゼロからのスタートから相当頑張つた。その甲斐あつて、一浪(年齢的には留学もあつて一浪と同じ)して千葉大学医学部に合格したのであつた。

共に歩んでいきましょう

外科医長 安藤恒平先生

こんにちは。今年4月から、さくら総合病院へと参りました。安藤恒平といいます。思えば、東京は築地にある「国立がんセンター中央病院(現 国立がん研究センター)」にてトレーニングを受けていた時、当院外科部長の小林 豊先生とお会いしました。それをきっかけとして、当院へと就任させて頂いた次第です。

私は外科を専門としております。外科の何処をと言わわれると、総合外科と言わざるを得ないのですが、手術を主に、外科領域広範において研鑽を積んできております。

昨今、大学病院や都心部にあるセンター病院へ行きますと、外科というとさらに細かい診療科に分かれていますよね。病院毎に多少の呼び名の違いはありますけれども、上部消化管外科や大腸外科などです。以前は、一人の外科医は、頭も骨もお腹も胸も、多岐にわたる手術を行っていたわけです。私は、その後者に重点をおいております。なぜかと申しますと、病は必ずしも国境の様にきれいに線引きができるものではないと考えるからです。年をとっても、多少なりとも骨や肝臓、腎臓、心臓、血管その他諸々、予備力が不足してきます。そのような中でも全身に気を配りながら、かつ専門的に治療ができることが大切です。もちろん、それは病院全体としてそれができることが大切なのであって、一人ですべての診療をするという意味ではありません。ただし、その気配りは一人一人の医師の技量だとも思い、そこに重点をおいております。また、さくら総合病院は、今後もそれを追求し、既存の思い込みにとらわれず、内省的でありながらも常に新しい未来を作り上げていく病院だと思います。そのような中に、私もご一緒させて頂けるとは、この上ない幸せです。気負いは無く、向上心を最大限に發揮させて頂こうと思います。

あまり医療医療と言い過ぎるのは、医師の悪しき導きでもあるかもしれませんから、話を変えますね。

私は福岡生まれの福岡育ちです。実は愛知県に住むのはこれが初めてで、愛知での生活を非常に楽しみにしています。この地は、縁が多く、息の長い活気に満ちている様に感じています。そして、親しみやすい人が多いですね。私は仕事としては医療者ですけれども、生活する上では人です。ある時は助けてもらっています。ですから、お互いに感謝の気持ちを忘れずに、共に今を大切にしながら次を築いてゆきましょう。どうぞよろしくお願ひ致します。

医療事務系の新資格「医療経営士」へのチャレンジ

人事課長 伊藤洋平

私事ですが、6月に「医療経営士」の資格に合格しました。「医療経営士」とは、昨年10月より日本医療経営実践協会が認定・推進する医療事務系の新資格です。資格取得後は、協会に入会し、継続的な研修等にて医療・患者サービスに関する様々な知識、医療法務等を習得したうえで、最終的には医療経営マネジメントを実践思考できる人材を養成することを目的とします。

病院は医療ライセンス取得者の集まりですが、資格を持たない事務職員もチーム医療の一員です。受付や会計、相談窓口、コンシェルジュといった医療的業務は当然の事ながら、一般会社と同様の事務的業務もあり、その業務は広範囲に渡ります。当然、優先すべきは、医療従事者の行う医療サービスのサポートや患者サービスですが、事務的業務をおろそかには出来ません。なぜならば、医療と事務的業務は、車の両輪のごとく機能することにより、医療機関は前進・発展し、より質の高い医療サービスの提供を可能にすると考えられるからです。

特に、医療機関を取り巻く環境は、年々厳しくなっており、日本社会そのものをあらわしています。国が求める医療制度を事前に理解し、すばやく判断・実行できる人材育成、養成は時代の要請なのです。そのため、大それた言い方かも知れませんが、病院運営における事務職員の役割的重要性は益々大きくなっているのではないでしょうか。しかし、複雑な医療の仕組みや医療保険制度を含めて医療に関する知識や経験は一朝一夕に身に付くものではありません。この「医療経営士」はそれを補完できる資格であると考え、チャレンジを決意しました。

この医療経営士の資格取得は、あくまでも単なる資格であり、一つのステップですが、これを機に病院の事務職員として幅広いステージで活躍し、チーム医療の一員として、患者サービスや地域医療に貢献できるよう日々、がんばりたいと思います。

★健康を守る教室からお知らせ★

毎月第4土曜日開催の『健康を守る教室』にご参加頂きありがとうございました。

6月は「検査データが教えてくれるあなたの健康～動脈硬化完結編～」についてご案内しました。

動脈硬化になる原因として、大きく上げられるのが、

高血圧・高脂血症、糖尿病 そして 喫煙と肥満です

動脈硬化を治療しないと、脳出血、脳梗塞、心筋梗塞、狭心症など日本人の3大死因の原因となる疾患や、閉塞性動脈硬化症(手足の血管に発症する血行障害)を引き起します。今回は「動脈硬化危険度チェック」を行いました。1度チェックをしてみてくださいね。

簡単チェック①

- 血圧が高め
- たばこを吸う
- 太りぎみ
- 最近寝不足である
- ストレスを感じることが多い
- 最近運動不足を感じている
- 普段座ってする仕事が多い
- お酒を週に3日以上飲む
- 魚より肉を多く食べる
- 濃い味付けを好んで食べる
- いつもおなかいっぱい食べる

◎チェックがない方はこのまま
よい生活習慣を続けてください!
※1つでもチェックがある方は
簡単チェック②へ

簡単チェック②

- 40歳以上
- 高血圧と言われた事がある
- 糖尿病である
- 高脂血症と言われたことがある

チェック②で当てはまる項目がない方は生活習慣を見直して予防につとめましょう。

1つでも当てはまる方は病院で検査を受けてみましょう。

第10回 「健康を守る教室」

テーマ：『骨粗しょう症(こつそしょうしょう)の早期発見と悪化予防』
&セラバンドを使用した体操

日 時：平成23年8月27日 土曜日
13:00～14:00(受付12:30～)

場 所：新館1F

講 師：薬剤師 管理栄養士 馬場 診療放射線技師 安藤
臨床検査技師 林 理学療法士 磯村

参 加 料：無料

お問合せ：受付窓口もしくは医療連携室
Tel 0587-95-0015



骨粗しょう症とは、骨がスカスカになり骨折しやすくなる病気です。今回は食事・運動・検査・治療など、色々な角度から「早期発見と悪化予防」をご説明します。

※健康を守る教室の体操コーナーでおなじみのセラバンドを健康教室終了後に下記価格で販売をいたします。
ご希望の方はお申し出下さい。 黄色(弱)400円 緑色(中)460円 青色(強)520円

『さくら荘のリハビリテーション』

さくら総合福祉センターさくら荘 理学療法士 柏木克友

今年度もりハビリテーション科には、19名の職員が入職し、延べ76名と大変大きな部署となりました。さくら荘には、理学療法士、作業療法士あわせて5名、言語聴覚士1名、音楽療法士1名の計7名の療法士が在籍しており、老人保健施設としては大変充実した施設であると思われます。

一般的に、さくら荘など老人保健施設へ入所、利用される方々は、病気を発症した後、医療機関にて治療を行い状態が安定した方が対象となります。リハビリに関しても同じようなことが言え、急性期リハビリ、回復期などの療養期のリハビリを終えた方が対象となります。そのため病気の違いなどで差はありますが、ある一定の日常生活活動の能力を獲得して病院を退院し、施設へ入所されるか、ご自宅へと復帰されます。

わたくしどもは、その獲得した日常生活活動の更なる安定や能力の向上と介護者の介助量の軽減を大きな目標としています。ひとりひとりの病気や入退院の記録、身体機能や認知機能などを考慮しながら、改善の可能性や代替手段の有無などを検討し、具体的な目標を定め、訓練を行っていきます。

これからも「(介助するのが少し楽になって)よかった」、「(お家に帰ってこられるようになって)よかった」など、ご本人やご家族に、少しでも多くの「よかった」が生まれるように皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

診療科表

平成23年8月1日現在

午 前 9:00~12:00							午 後 5:00~7:30												
外 科	内 科	整 形 外 科	脳 神 统 外 科	小 儿 科	皮 肤 科	耳 鼻 器 科	泌 尿 器 科	婦 人 科	眼 科	外 科	内 科	整 形 外 科	脳 神 统 外 科	小 儿 科	皮 肤 科	耳 鼻 器 科	泌 尿 器 科	婦 人 科	眼 科
月	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
火	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
水	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
木	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
金	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
土	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
日	○	○	○	※1															

※1 休診日もございます

※2 第2、第4は11:30までとなります

※3 小児科は、3月9日(水)より休診とさせていただきます

● 診療時間に関しては受診されます診察科目により異なります

ご不明な点がございましたら職員に確認してください

● 診療日が変更になる場合があります ご了承ください

機関紙 発行 医療法人 医仁会 電話 0587(95)6711(代)
 human ヒューマン さくら総合病院 発行年月日 2011年8月1日
 丹羽郡大口町新宮1-129 発行部数 350部

No.232